

11月のはりま読書の会で紹介された本

書名	著者	請求記号（所蔵あり）
大江健三郎自選短篇	大江 健三郎／作	
声に出して読みたい日本語	斎藤 孝／著	809 サ
声に出して読みたい方言	斎藤 孝／著	
恋愛中毒	山本 文緒／著	ブン F ㍲
からくり民主主義	高橋 秀実／著	
エンジェルフライト	佐々 涼子／著	673 サ
それを愛とまちがえるから	井上 荒野／著	F ㍲
真昼のユウレイたち	岩瀬 成子／作	91 ㍲
日本のことばずかん あじ	神永 暁／監修	81 ニホ
ねないこはわたし	せな けいこ／作・絵	726 セ
野球しようぜ!	とりごえ こうじ／文, 山田 花菜／絵	

～ 読書会 memo ～

今月の読書会には、4名の方に参加していただきました。

前回から開催時間が30分長くなり、また、参加人数も少なかったこともあり、本の紹介や意見交流の時間もしっかりとっていただけたのではないのでしょうか。

ある方は、随分前に大江氏の長編小説を読んだけれど少し難しいなど感じ、暫く遠ざかっていたそうです。しかし、最近、『大江健三郎自選短篇』を書店の店頭で見かけ、読んでみると同じ作者でも長編と短篇では全く雰囲気違ってとても分かりやすいと感じられたようです。

人は何か声に出すことで気持ちがすっきりすることがある。歌を歌う人もいるけれど、歌うことはあまり得意ではないし…とっていた方が出会ったのが『声に出して読みたい日本語』。

日本語の名文・名句を声に出して読んでみると心地良く気持ちもすっきりとされたようです。

また『声に出して読みたい方言』は「坊ちゃん」、「源氏物語」など馴染みのある作品や民話なども収められており、朗読CD付で実際に方言での朗読を聴くことができるそうで、普段聴きなれた標準語で聴くのと一味違ってとても面白いそうです。民話もその土地のことばで聴くと味わい深く、その世界観に浸れるようです。とても興味深いお話を聞くことができました。他にもいろいろと紹介していただき、有意義な時間を過ごすことができました。

ありがとうございました。

次回は 12月15日(日)午前11時からの予定です。

※変更となる場合があります。HP等をご確認ください。